

大地から小さな学校のおたより

ブラジル第3アリアンサ富山県日本語学校便り NO12 7月号



霧の中のアリアンサは、とても風情があり、広大な大地に浮かび上がる木々は日本では見られない幻想的な景色です。7月はブラジルでは冬だと言われています。朝晩10度を下回る時もあり、とても寒いです。1975年には、霜が降り、コーヒー農園のほとんどが収穫できないほどの被害が出たそうです。今年の冬は、昨年より暖かいと村の人たちが言っていました。

この寒い時期に、「イッペイ」という花が咲きます。学校の庭にも、こんなに色鮮やかな花が咲きました。5月号でお伝えした「パイネイラ」と言う花もピンク色でしたが、こちらもピンク色で、村の人たちは「桜みたいでしょ」と「パイネイラ」と同様に同じことを言っていました。この「イッペイ」の花が散ると地面が、ピンク色に染まり、花の絨毯になっていました。



ロデオ大会に行ってきました。

先日、生徒たちや保護者と一緒に、ミランドポリス市75周年記念のロデオ大会を見に行ってきました。ロデオ会場には、遊園地の乗り物があり、多くの人で賑わっていました。久しぶりに見る遊園地の姿に、思わず「のりたいなー」と口が自然と動いてしまいましたが、結局、乗るのを諦めました。



写真にあるのは、子供用のロデオの乗り物です。順番を待つ子どもたちもロデオ気分です、誇らしげでした。



夜11時過ぎにロデオ大会が始まりました。この日は特に寒くて、吐く息も白く、8度だと聞き驚きました。ロデオは馬と牛の部門があり、牛に乗ることが難しいと聞きました。確かに牛から落下してしまう選手が多かったです。8秒の間に、演技をするのですが、牛は激しく美しく動くほど良く、それに合わせてリズムに乗るように演技をすると良いそうです。でも初めて見た私は、演技よりもあまりにも大きな牛に驚きました。間近でみる牛は、まるで象のようでした。

こんな授業もしてみました。



日本語学校では、日本語の他に、音楽、美術など日本文化にちなんだ内容も教えています。私は16代目の富山県派遣教諭です。30年以上の歴史があるこの学校には、それぞれの先生方が残した教材がたくさんあります。その中の一つに顕微鏡があり何年かぶりに取り出して、葉や虫を子どもたちに見せました。子どもたちは、ブラジルの公立学校では顕微鏡を使ったことがないので、とても興味を持っていたようです。教育内容にも両国の違いがあるのだと理解した一時でした。



私は日本語を教えるとき、小さい子どもたちには、なるべく体を使った学習を取り入れています。2時間半ある授業では20分くらいを「日本語ゲーム」の時間にして、子供たちは点数を競いながら学習しています。今回は動詞です。動詞の内容が描かれている絵を黒板に張り「すわります」という動詞が私の口から出た瞬間に子どもたちはお手玉を投げて、絵と私の言葉をマッチングさせていきます。きちんと当たるとシールがもらえるのでとても楽しんでいました。「シールは全部でいくつですか」と言うとみんな必死になって「1, 2, 3…」と数えていきます。友達がいくつなのかとても気になるようです。おかげで数字にはとても敏感になってくれたので私も嬉しいです。

版画に挑戦しました

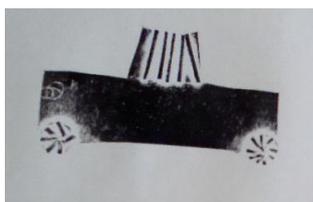
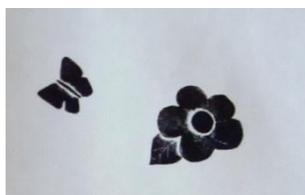
夜学では木版画、小さい子どもたちには紙版画に挑戦しました。版画は中国から伝わった技法ですが、浮世絵をはじめとする日本の版画は独自の発展を遂げてきました。紙版画は日本の小学校ではおなじみの図画工作教材ですが、この技法も世界各地の学校で行われているものではないのです。日本の美術文化は版画教育だけを見ても、実にいろいろな教材があるのです。

今回は、その様子を写真ギャラリーにして紹介します。

夜学 木版画



幼・小 紙版画



木版画は、教会、鳥、ヤシの実、アヒル、富士山などを制作しました。美術制作の面白いところは、国が違えば題材も変わってくるところです。今まで日本で見慣れた木版画もいいですが、異国の方の木版画も素晴らしいです。

紙版画は自分の思いの題材を作品にしました。初めて使う道具にとっても興味を持って取り組みました。ばれんを初めて見た時は、「先生これなんですか」と聞いてきました。子どもたちにとって、すべてが初めての体験だったようです。

低学年林間学校がありました

今年の低学年林間学校は第2アリアンサ日本語学校で行われました。工作は、「空気砲」です。段ボールに穴をあけ、中に線香を入れて「ポン」とたたくと煙が出てきます。「インベーダーゲーム」では、点数が書かれたインベーダーに煙を当てていきます。当たったら点数が入ります。しかし、「HIRA キング」扮する先生にあてると15点、そして何度も復活するので、みんな必死になって「HIRA キング」に向けて煙を発射していました。午後に行われたのは、「宝探しゲーム」です。ポケモンが書かれたカードを必死に集めました。時間が来ると怖い悪魔が出てきて捕まえられてしまいます。しかし天使が登場してじゃんけんに勝つと、また宝さがしに参加することができます。今年は、先生たちのアイデアも良かったのか、とても楽しい低学年林間学校になりました。



今月号の挿絵「大地の日記、一聞こえない音楽」 2009年7月制作